

事業所名

Many smile いりえ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

10 月

15 日

法人（事業所）理念		個々の発達特性を踏まえた上で、困りごと（日常生活のサポート、集団生活への適応）を解決し、将来の“自立”と社会参加を目指した支援を行い、一人ひとりの笑顔と成長を大切にします。					
支援方針		「個別プログラム」や「小集団プログラム」を通して、集団生活（社会生活）へのスキルを身につけていく。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活に基本となる食を営む力の育成に努めるとともに楽しく 食事ができるよう口腔内機能、感覚等に配慮しながら咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。 ・身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。					
	運動・感覚	・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び（音楽・リズム・マッチング・ビジョントレーニング）を通して支援する。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持、強化を図る。					
	認知・行動	・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得の為の支援を行う。 ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。					
	言語 コミュニケーション	・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 ・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。					
	人間関係 社会性	・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 ・感覚機能を使った遊びや、運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びや、つもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から、並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。					
家族支援		・本児の将来を見据え、今できる支援の共有（子育てや療育等に関する情報交換や情報の共有を行う）			移行支援		・事業所以外での育ちの場である利用先や園との繋がりを持ちながら生活を送る（併行利用先や通っている園と本児の状態や支援内容の共有を行う）
地域支援・地域連携		・保護者の意向を踏まえながら、関係機関との情報共有や支援方法の調整を行い、継続的な発達支援に努める			職員の質の向上		・職員間で児童の発達状況や支援方法についての情報共有や事例検討会議を行い、支援の質の向上を図る
主な行事等		・季節に応じた製作活動（カレンダー作り） ・手作り玩具（学期毎に持ち帰り） ・幼稚園での園庭遊具あそび ・音楽遊びやリズム遊び ・室内器具（感覚統合） ・生活習慣、社会性を育む活動（ソーシャルスキルトレーニング）					